



クイズラリーの答え



刀根早生柿

第1問

吉野川の水が初めて大和平野に流れたのはいつ？

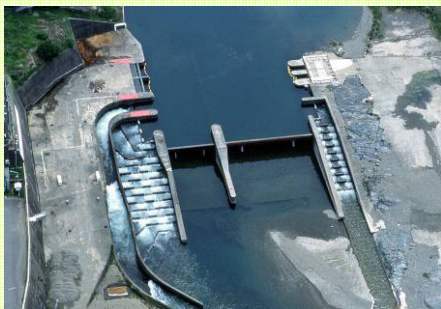
- A 元禄14年(1701年)
- B 昭和31年(1956年)
- C 平成15年(2003年)

答え B(昭和31年)

大和平野で1年間に降る雨は約1,300mmと全国平均の約1,700mmと比べて少なく、ため池などをたくさん作りましたが、古来より米作りで水不足に悩んでいました。このため吉野川(紀の川)の豊富な水を大和平野に分水を行うこと(吉野川分水)が江戸時代の頃から大和平野農民の願いとなっていました。

初めて大和平野に吉野川の水が流れたのは、昭和31年7月26日の試験通水でした。現在の最大通水量は1秒間に約11トンで、大和平野の田畑を潤すとともに奈良県民の飲み水にもなっています。

しかし、用水路などの施設は作られてから相当の年月が経過してきたため、平成15年より国営大和紀伊平野土地改良事業(農業用水再編対策事業)により、施設の更新、補修などを行っています。



下淵頭首工(吉野川からの取り入れ口)

第2問

天理生まれの渋柿で、品種別の栽培面積が全国第3位の柿は次のうちどれ？

- A 富有(ふゆう)
- B 平核無(ひらたねなし)
- C 刀根早生(とねわせ)

答え C(刀根早生・とねわせ)

刀根早生は、全国の柿の品種別栽培面積が第3位を誇る主要品種となっています(18年産農水省調べ)。ちなみに、第1位は富有、第2位は平核無です。

天理市の刀根淑民さんの農園で栽培されていた平核無が突然変異して生まれたもので、1980年に品種登録されました。果実の外見と、食べたときの味や香り・食感などは平核無とほとんど同じで、平核無より収穫時期が2週間早く9月下旬から収穫できます。

渋柿なので、収穫後に二酸化炭素を使って渋抜きをし、甘く食べられる状態にしてから出荷されます。刀根早生と平核無は、店頭では「合わせ柿」「種なし柿」などの名前で区別せずに販売されている場合が多いです。外見の特徴は形が平らで角張っており、中に種はありません。大変甘くジューシーで果肉が柔らかいことも特徴の一つです。

刀根早生柿発祥の地顕彰碑



第3問

測量をする場合、日本の土地の高さ基準（標高0m）となるのはどこ？

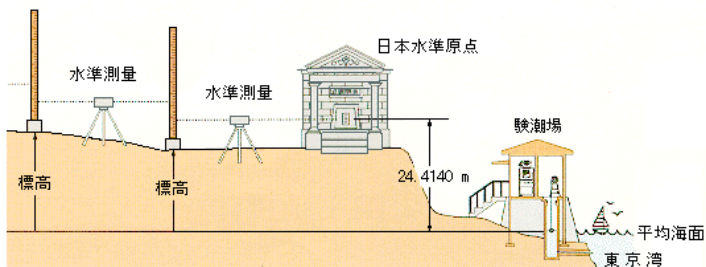
- A 東京湾の平均海面
- B 日本の陸上で一番低い場所
- C 旧東京天文台の跡地

答え A（東京湾の平均海面）

農業用水など水を水田に導き有効に利用するための工事などでは、土地の高さの測量が特に重要です。

日本の土地の高さ（標高）は、東京湾の平均海面を基準（標高0m）として測られています。東京湾の平均海面を地上に固定するために設置されたのが日本水準原点です。

全国の主要な道路沿いに設置されている水準点の高さは、この日本水準原点に基づいて水準測量により決められ、この水準点がその地域において行われる高さの測量の基準となります。



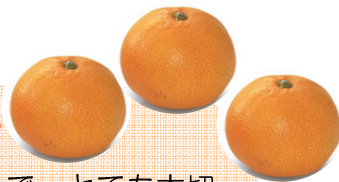
国土交通省国土地理院ホームページより引用
(<http://vldb.gsi.go.jp/sokuchi/level/main.html>)

第4問

みかんをおおよそ何個食べると、大人が一日に必要なビタミンCを摂れる？

- A 3個
- B 30個
- C 300個

答え A（3個）



健康な体をつくるうえで、とても大切な働きをするビタミンCは、みかんにたくさんに含まれている栄養素の一つです。みかん1個（約100g）には、約35mgのビタミンCが含まれていて、おおよそ3個で、大人が一日に必要なビタミンC（100mg）が摂れる計算になります。

また、みかんに多く含まれている物質には、がんをおさえる効果があるらしいという研究結果が発表され、注目されています。

普段からみかんを上手に食べることは、健康にとっても良いと考えられています。ぜひ、山の辺の道のおいしいみかんを食べて、健康な体づくりにお役立て下さい。

第5問

そうめんの原料は？

- A 小麦粉
- B 米粉
- C ぐず粉



答え A（小麦粉）

三輪そうめんの歴史は、今から約1300年前、大神神社の第12代宮司の次男が、三輪の里の肥よくな土地と三輪山から流れ出る巻向川と初瀬川の清流が、小麦の栽培に最も適するのを知って小麦栽培を奨励し、麦縄（そうめんの原型）を作ったのが始まりです。

そうめんは保存食としても有効で、当時飢餓に苦しむ人々を救いました。三輪そうめんは手延べそうめんの元祖であり、日本最古の加工食品と言われています。